



青色の ふれる まほろばに

美馬を彩る風物詩

美馬市ならではのユニークな祭りや催事の数々は、驚きや感動の連続!

穴吹川筏下り大会
清流・穴吹川を舞台にして、8月第1日曜日に開催される真夏の恒例イベントです。川岸や沿道から大勢の人が見守る中、県内外から多くのグループが、工夫をこらした手作りの筏で参加します。5キロメートルと2.5キロメートルを下るレースがあり、タイムを競うもの、筏の趣向を競うものに分かれています。途中、筏が転覆したり、浅瀬に乗り上げたりと悪戦苦闘、チームワークを発揮しながら、竹ざおやオールを漕ぎ、川下りを楽しめます。



白人神社御的祭
保元の乱の後、讃岐に落ちのびた崇徳上皇を訪ねた源為朝が、阿讃国境の相楽で弓を引くと、うなりをたてた矢は毘沙門嶽に当たり、はねかえって白人神社に落ちたと伝えられています。弓は白人神社の宝物となっていて、旧正月14日に御的祭が行われています。



うだつ黄門まつりと阿波踊り
徳島県内の阿波踊りシーズンの幕開けを告げるうだつ黄門まつりは、老若男女が華麗に、しなやかに町並みへおどり込みます。この日は黄門様ご一行も登場。東映太秦の俳優や地元のうだつ劇団寺子屋のメンバーによるストリートパフォーマンスをエネルギーに披露します。



祭時記カレンダー

1月	白人神社どんと焼き (15日)
2月	白人神社御的祭 (旧暦1月14日)
3月	穴吹川水系アヌコ釣り解禁
4月	中尾山高原開き (1日)
	ソラの地に捧げる音楽祭 (上旬・中旬)
	八百萬神の御殿の桜見ごろ (上旬・中旬)
	川井峠のたれ桜見ごろ (上旬・中旬)
	新山大師護摩供養 (旧暦3月21日)
	大滝山春まつり・西照神社御神楽 大滝寺楽壇護摩 (第4日曜)
5月	剣山開き (1日)
6月	穴吹川・吉野川アユ釣り解禁
7月	剣山龍光寺本坊焼燈大護摩 (15日)
	剣山龍光寺御興渡御 (17日)
	剣山本宮御興渡御 (17日)
	うだつ黄門まつり (中旬)
8月	穴吹川筏下り大会 第1日曜
	美馬市花火大会・阿波踊り大会 (中旬)
	木屋平緑とふれあい夏祭り (14・15日)
	美村が丘夏祭り (下旬)
	四国三郎の郷サマーフェスティバル (下旬)
9月	穴吹銀座会阿波踊り (下旬)
10月	口山八朔踊り (旧暦7月末日)
	三頭神社お練り (16日)
	剣山紅葉まつり (中旬)
	美馬市内神社秋祭り
11月	美馬市文化祭 (下旬)
	美村が丘紅葉ウォーキング大会 (下旬)
12月	穴吹銀座会イルミネーション (中旬・1月末まで)
	三味線もちつき



四国三郎の郷サマーフェスティバル
四国三郎の郷に隣接する吉野川河畔ふれあい広場で、毎年8月下旬に「四国三郎の郷サマーフェスティバル」が開催されます。花火大会、野外コンサート、カヌー体験、阿波踊り、ピヤガーデンなど、盛りだくさんの催しが繰り広げられます。これまでサマーダンスフェスタ、そうめん流し大会など、毎回、特別なイベントも催されて、人気を呼んでいます。会場には、子どもから大人まで大勢の家族連れが、夏休み最後の週末を楽しみます。



古 来、四季折々に人々が心をひとつにし、絆を深めてきた伝統行事。的に向けて矢を放ち、無病息災などを願う白人神社御的祭、藍商人の心意気を映した三味線もちつきなど美馬の地ならではの伝統行事が息づきます。一方、夏を彩る恒例の催事。四国三郎吉野川、清流穴吹川、そしてうだつの町並みを舞台にした多彩な催しが夏の二日に弾けます。

■祭りに関するお問い合わせ TEL: 0883-52-2644 (美馬市 商工観光課)

三味線もちつき
江戸時代、脇町が阿波藍で栄えた頃、豪商が年の暮れに芸者に三味線をひかせ、もちつき唄を唄り物にあわせて歌いながら、正月のもちをつかせたのが始まりと言われています。軽快な三味線と威勢のよい杵の音が響きます。もちつきがクライマックスを迎えると、杵取りとつき手たちの絶妙なタイミングとスピードには、思わず引き込まれます。現在、さまざまな催しに参加し、伝統の継承と発展に尽力しています。

■TEL: 0883-63-2177 (美馬市教育委員会 生涯学習課)